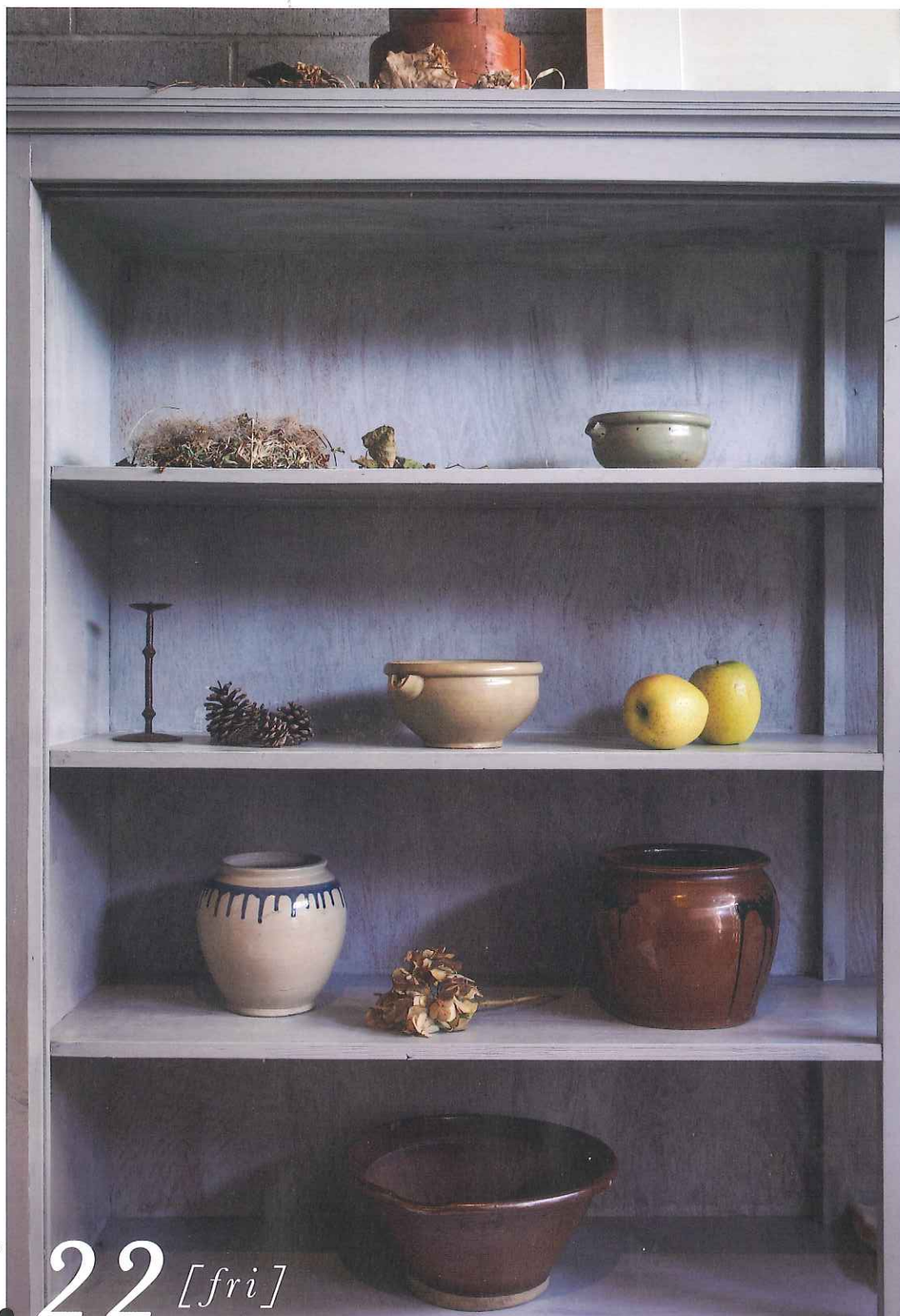


の も い わ み

「企画展」
Shimanomura

暮らしを形づくる石見のやきもの



企画展 観覧料

一 般 / 7,000円(5,600円) 常設展とのセット券 / 1,000円(800円)
大 学 生 / 4,000円(3,200円) 常設展とのセット券 / 600円(480円)
小 中 高 生 / 2,000円(1,600円) 常設展とのセット券 / 300円(240円)
*W.D.限定！お得なチケット！一般常設展とのセット券 / 800円(640円)があります。
詳しくはホームページをご覧ください。
* (一)は20名以上の団体観覧料です。 * 障がい者手帳保持者及びその介助者1名は観覧無料です。



島根県立古代出雲歴史博物館
Shimane Museum of Ancient Izumo

出雲市大社町特設東99-4 TEL.0853-53-8600
http://www.izm.ed.jp/

主催 / 島根県立古代出雲歴史博物館・島根県古代文化センター
特別協力 / 石見陶器工業協同組合、NPO法人石見ものづくり工房、石州瓦工業組合
後援 / 朝日新聞松江総局、産経新聞松江支局、日本経済新聞社松江支局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、中国新聞社、山陰中央新報社、島根日日新聞社、新日本海新聞社、共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、NHK松江放送局、TSS山陰中央テレビ、テレビ朝日松江支局、日本海テレビ、BSS山陰放送、エフエム山陰、石見ケーブルビジョン株式会社、出雲ケーブルビジョン、山陰ケーブルビジョン、ひらたCATV株式会社

古代出雲歴史博物館
出雲大社東隣り
*開館時間 / 午前9時～午後6時
*会期中の休館日 / 8月16日[火]・9月20日[火]

2016. 7. 22 [fri]
⇒ 9. 25 [sun]

Iwamimono

島根県西部、石見の国。豊かな土地の恵みと「石見びと」の手の力で生み出された「いわみもの」。

その代表的存在、石見焼は江戸時代後期から始まり、明治時代後期から大正時代には

日本各地で用いられるようになりました。

また、石見の職人たちも西日本各地へ進出し技術を伝え、生活に欠かせない品々を生み出してきました。

長い歴史と伝統をもち、いまでも私たちの暮らしのなかにしっかりと根づいている「いわみもの」。

その歴史をたどりながら、地域ブランドの魅力とゆたかな暮らしのありかたについて

あらためて見直す展覧会です。

展示構成

プロローグ いざ！いわみもの

- 1 > 集合！いわみもの …… いわみものは新しい言葉です。石見焼と石州瓦など代表的な「いわみもの」を紹介します。
- 2 > 誕生！いわみもの …… 石見焼はいつ、どこで誕生し、その技術はどこからもたらされたのかに迫ります
- 3 > 鮮烈！いわみもの …… 赤瓦の町並みと巨大な登り窯。石見を代表する景観とシンボルカラー「赤」の魅力に注目します
- 4 > 躍動！いわみもの …… 石見の職人たちが西日本各地に残した活動の軌跡をたどります
- 5 > 煌星！いわみもの …… 日本の近代化の歩みのなかで、石見が光り輝く産地のひとつとなっていく、その道程を探ります
- トピック 「いわみものと民藝」 …… 柳宗悦が石見の国で見いだした焼き物「喜阿弥焼」(益田市)を紹介します
- 6 > 奮闘！いわみもの …… 大正時代、石見のやきものが形づくってきた「暮らし」はどのように変化したかを考えます

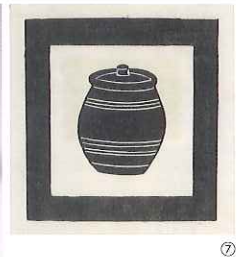
エピローグ もっと！いわみもの



1. 石見焼大甕(石見陶器工業協同組合所蔵)
2. 浜田市指定文化財 諸国御客船帳(清水邦行氏所蔵)
3. 第1回内国勸業博覧会錦絵「大日本内国勸業博覧会製糸器械之図」(梶乃村工芸社所蔵)



4. 生活改善展覧会出品ポスター「家庭の改良は先づ窯所設備から」(国立科学博物館所蔵)
5. 石見焼蓋壺(武蔵野美術大学美術館・図書館所蔵)
6. 喜阿弥焼壺(日本民藝館所蔵)
7. 芹澤鮎介「手仕事の日本」押絵原画 石見喜阿弥 桶壺(日本民藝館所蔵)



■ 関連講座① 7月30日[土] 14:00~15:30
「いわみものヒストリー」
講師／島根県立古代出雲歴史博物館
専門学芸員: 関野大丞 専門研究員: 東森晋
島根県教育庁文化財課 専門研究員: 矢野健太郎 特任研究員: 中安恵一

■ 関連講座② 8月27日[土] 14:00~15:30
「海をわたった石見のやきもの」
講師／阿部志朗氏(浜田高校教諭)

■ 特別講座 9月11日[日] 14:00~15:30
「いままぜ民藝か一素であること、その後」
講師／鞍田崇氏(明治大学理工学部専任准教授)

- 場所／各講座いずれも古代出雲歴史博物館講義室にて
- 定員／各100名 ● 参加費／無料(要申し込み)
- 申し込み方法／電話・FAX・ホームページのイベント参加フォームのいずれかでお申し込みください

■ ギャラリートークプラス
学芸員による展示解説プラス1テーマ解説
8月20日[土] 「石見焼・石州瓦のはじまり」
9月3日[土] 「古文書にみる石見焼」
※いずれも14:00~15:00
※時間までに特別展示室入口にお越しください
※企画展観覧料またはミュージアムバスポートが必要です

■ ワークショップ 9月4日[日] 14:00~15:30
いわみものフラワーアレンジメント教室
講師／多々納和子氏(装花作家・buis代表)
● 場所／古代出雲歴史博物館体験工房
● 定員／20名(先着順)
● 参加費／2,000円(花器・花代込み)
● 申し込み方法／電話・FAX・ホームページのイベント参加フォームのいずれかでお申し込みください



山陰道「出雲IC」から国道431号線経由で約20分
JR出雲市駅から一畑バス「出雲大社・口御崎」行き乗車(約25分)
「正門前」降車、徒歩約2分
一畑電車「出雲大社前駅」降車、徒歩約7分
出雲空港から空港連絡バス「JR出雲市駅」行き(約25分)
JR出雲市駅からは一畑バス、一畑電車をご利用ください

島根県立古代出雲歴史博物館
Shimane Museum of Ancient Izumo

出雲大社東隣り
〒699-0701 島根県出雲市大社町竹築東99-4
TEL. 0853-53-8600 FAX. 0853-53-5350 <http://www.izm.ed.jp/>